

たより



平成 29 年 7 月 日

伊勢市教育研究所

伊勢市桜木町 55-1 (旧さくらぎ保育所)

第1回不登校児童生徒支援員委員会



6月23日（金）、第1回不登校児童生徒支援員委員会を開催しました。

最初に学校教育課 紋谷尚宏主幹より、来年度から市内小中学校で実施される「魅力ある学校づくり調査研究事業」について、1年間の取組の流れ、事業における成果を中心に不登校を未然に防ぐ取組について説明が行われました。



その後、皇學館大学教育学部 渡邊賢二教授より、「不適應行動を抱える子どもの援助と連携」という演題でご講演いただきました。講演後半

は、校区別のグループに分かれて事例検討が行われ、最後のまとめの中で『100%ではないが、不登校は長い目で見たらずっと不登校が続くということはない』という力強いお言葉をいただきました。

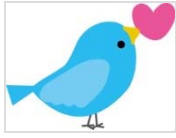
<渡邊先生のお話より>

- 小学校から中学校の学校移行の時期は、環境の変化、思春期という発達段階の大きな変化が大きく、対人面や学習面で困難を抱える生徒は適応が難しい。
- 保護者より誰よりも子どもが一番しんどい思いをしている。成長、発達は遅いかもかもしれないが、間違いなく変化はある。時間がかかってもそういうところを見ていくようにしていく。
- 子ども自身に、担任以外にもいろいろな人(SC,養護教諭など)との関わりを持たせる。違った方向からの意見はとても大事なこともあるので、しっかり意見を拾ってほしい。

<アンケートより(抜粋)>

- 中1ギャップには、『学習と友人』がキーであること。『不登校の子どもが一番しんどい』ということ。不登校でありながらも『変化、成長していること』が、とても印象に残った。『様々な視点から』分析する必要性を感じた。
- 小学校と中学校の大きな違いを考え、しっかりと小中の連携を取っていかねばいけないと思いました。
- ソーシャルスキルトレーニングは、なるべく小学校の時から実施したほうがよいということ。そうだと思いました。
- 「不登校はずっと続くわけではなく、まちがえなく子どもは日々変化、成長している」というお言葉が印象に残りました。子どもの欠席が続くと不安になりますが、将来を見据えた関わりをしたいと思います。

不登校児童生徒支援員会では、これまでも「不登校対策ハーモニーハート総合推進事業」の取組の1つとして、伊勢市における不登校児童生徒の現状をふまえ、教育の大きな課題としてとらえ研修を進めてきました。今年度も引き続き、皇學館大学教育学部 渡邊賢二教授を講師としてお迎えし、児童生徒、保護者の具体的な支援方法について研修を深めていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。



教育支援センターNEST から



体験活動をふりかえって【4月～7月】

伊勢市教育支援センターNEST では、日々の活動のほかに月に 1～2 回のペースで体験活動を実施しています。さまざまな体験活動を通して、通級生同士はもとより、多くの人との心の交流を深めたり、普段できないことを体験して、豊かな心を育てたりすることがねらいです。また充実感を味わい、自信をつけることによって、前に一步踏み出す力へとつなげてほしいと考えています。



陶芸教室 6月 会場：NEST

アトリエ・プシケの坂口文香さんを講師としてお招きし、湯呑やお皿等、世界に一つだけのオリジナルの器作りに挑戦しました。最初に、坂口先生が実際に作品を作りながら、説明をして下さいました。熱心に先生の説明を見て聞いた後、予め考えてあったデザイン画を参考に、器作りに取り組みました。「うまくできへん」「時間がない」など苦労したところもありましたが、先生に丁寧に教えていただき、無事作品が完成しました。約1か月後、先生に窯で焼いていただき、色がついた作品が届きました。その作品を手にとった時の子どもたちの嬉しそうな表情がとても印象的でした。

絵手紙教室 7月 会場：NEST 沼木

柴田多嘉代さんを講師としてお招きし、NEST 沼木で『絵手紙教室～暑中見舞いはがきを作ろう～』が行われました。先生が用意して下さったひまわり、風鈴、うちわ、夏野菜等、暑中見舞いの題材を見ながら、いろんなアイデアを出しながら、絵手紙を描きました。「下手でもいい、下手がいい」という先生の温かいアドバイスのもと、リラックスして取り組むことができました。作品完成後はみんなでお互いの作品の良いところを言い合いました。今の季節にピッタリの作品が完成し、写真立てに入れて飾るとよりステキな絵手紙になりました。



パン作り教室 7月 会場：奥伊勢フォレストピア

大台町の奥伊勢フォレストピアのパン工房でパン作りを体験しました。生地を練って、たたいて、力いっぱいこねました。手に生地がひっつきたいへんでしたが、バターを入れてよい香りがしてくるとどんどん楽しくなってきました。パンが焼き上がるまで、清流と深い緑に囲まれた素敵な環境の中でお昼ご飯を食べました。天気にも恵まれ、澄んだ川に足をつけて、涼しい時を過ごしました。焼き上がったパンはとても美味しそうで、子どもたちは笑顔いっぱいパンをお土産に帰って行きました。